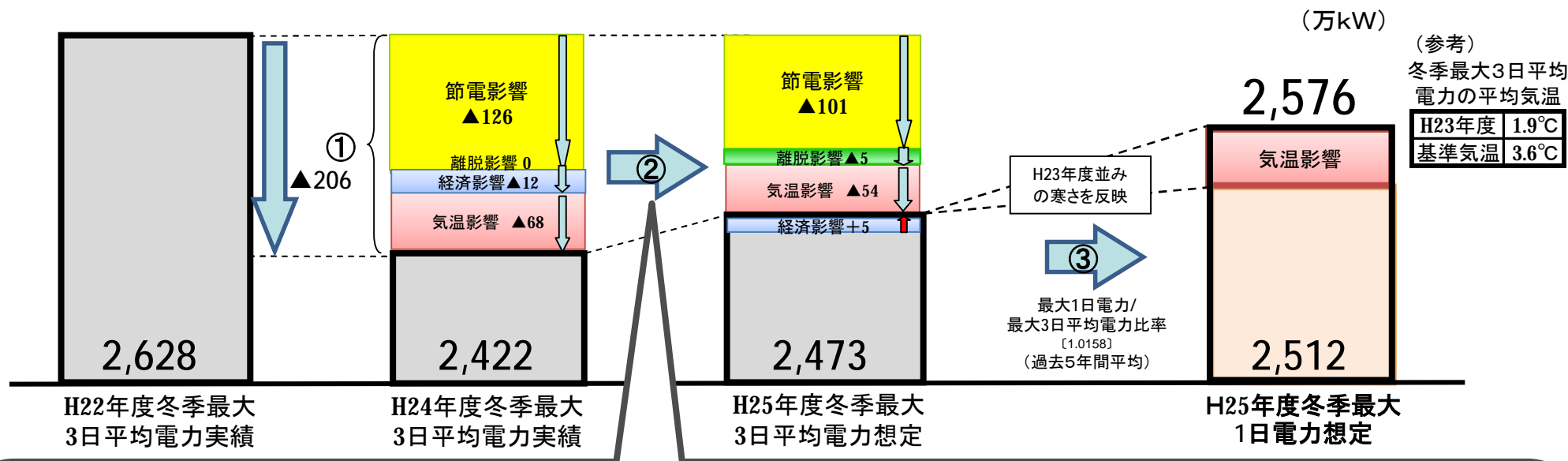


今冬の需給見通しについて

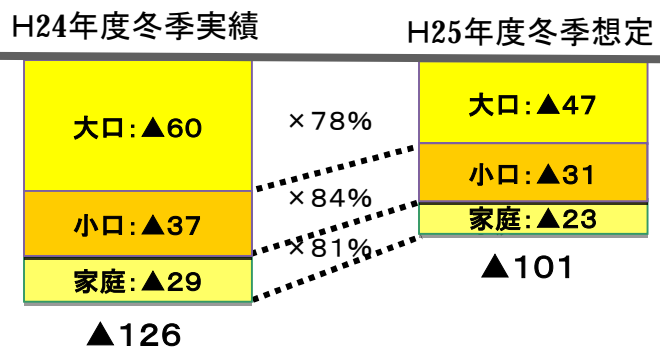
平成25年11月1日
関西電力株式会社

今冬の最大電力想定の考え方について

【最大電力の見通し】



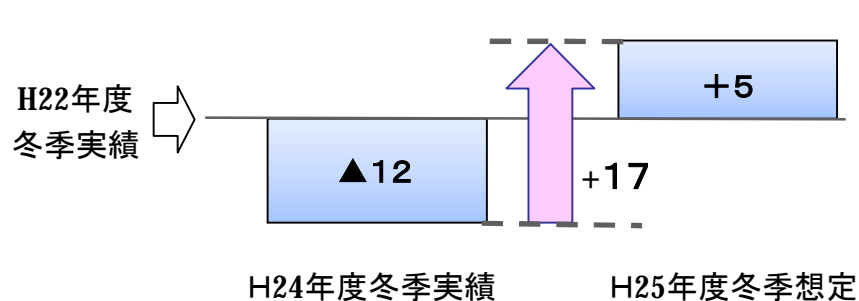
【②-1:節電影響の見通し】



【定着節電アンケート結果(H25.8実施)】

	定着率	サンプル数
大口	78%	581件
小口	84%	727件
家庭	81%	1071件

【②-2:経済影響の見通し】



- ①: H24年度冬季における節電影響、経済影響、気温影響、離脱影響を、H22年度とH24年度の冬季実績を比較して算出しています。
- ②-1: 今冬の節電影響は、至近のアンケート結果に基づいた大口、小口、家庭別の節電定着率により、▲101万kWと想定しています。
- ②-2: 今冬の経済影響は、今後の景気拡大を織込み、H24年度冬季と比べ+17万kWとなる、+5万kWと想定しています。
- ③: H23年度並の厳寒を反映した今冬の最大1日電力は、最大1日電力/最大3日平均電力比率の過去5年間平均を用いて、2,576万kWになるものと想定しています。

今冬の需給見通し(2月:原子力の再起動がない場合)

	①昨冬想定	②今冬想定	差分 (②-①)	備考
供給力-需要 (予備率)	105 (4.1%)	79 (3.0%)		(凡例) ☆ 計上の考え方 ○ 昨冬との差分
需要	2,537	2,576	+39	☆節電影響量は昨冬実績にアンケート結果を考慮 ○節電影響量の見込み(▲148→▲101)等による差分
供給力(合計)	2,642	2,655	+13	
原子力	236	0	▲236	☆稼働していない原子力は、再起動がない場合として計上しない ○大飯3・4号機の停止による減(▲236)
水力	166	166	0	☆天候によらず安定的な供給力として下位5日の平均から算定
火力	1,462	1,565	+103	☆定期検査の繰り延べ(±0) ○昨冬は海南3号機(▲60)、今冬は南港3号機(▲60)を計画 ☆火力の増出力、姫路第二発電所設備更新の活用 ○1・2号機の営業運転(+97)、4号機廃止(▲45) ○火力の増出力の見直し(+2) ☆先行機のある試運転は供給力として計上(+49) ○姫路第二3号機は、運開した1号機の知見を活かすことで、 試運転に伴うトラブルの見込みが低いため、供給力として計上
揚水	292	291	▲1	☆想定需要とベース供給力から算定
新エネ	0	0	0	☆太陽光はピーク時間を点灯時間帯(17~18時)予想で算出
他社・融通	486	633	+146	☆太陽光はピーク時間を点灯時間帯(17~18時)予想で算出
他社	479	481	+2	☆経済性を考慮し、必要予備力確保までの調達を計画
水力・揚水	56	53	▲3	○他社水力の減(▲3)
火力	422	428	+6	○他社火力の増(+6)
新エネ	0	0	0	○応援融通の増(+149)
融通等	8	152	+144	※中部電力: +122、中国電力: +17、北陸電力: +10 ○新電力への送電増等(▲5)

○原子力の再起動がない場合、火力の震災特例の活用による定検繰り延べ等を行っても自社では供給力が不足する厳しい需給状況となりますが、他電力からの融通のご協力などにより、最低限必要な予備率3%は確保できる見通しです。

今冬の需給見通し(原子力の再起動がない場合)

(発電端:万kW)

	1 月	2 月
需要	2,576	2,576
供給力	2,654	2,655
予備力	78	79
予備率	3.0%	3.0%

供給力内訳	原子力	0	0
	水力	169	166
	火力	1,547	1,565
	揚水	289	291
	他社・融通	649	633

今冬、当社管内では電力を供給する上で最低限必要な予備率3%を確保できる見通しですが、**需要の想定において、定着した節電分として101万kW（平成22年度最大電力比▲3.8%）を見込んで**いることから、**この冬についても、ご無理のない範囲で、引き続き、節電・省エネにご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。**

<参考：政府の節電要請内容および期間・時間>

要請内容：「数値目標を伴わない節電」

※今冬の需給見通しにおいて、節電の定着分（平成22年度最大電力比▲3.8%：当社管内）を見込んでおり、節電を行うに当たっての目安となる。

期間・時間：平成25年12月2日（月）～平成26年3月31日（月）までの平日9時～21時
（12月30日（月）及び31日（火）並びに1月2日（木）及び3日（金）を除く。）

【今冬の需要側の主な取組み】

<主にご家庭のお客さま>

- ホームページにて、電力需給のお知らせ
- ホームページや検針票裏面等にて、節電・省エネのPR
- 電気のご使用状況が見える化するサービス「はぴeみる電（電気のご使用量のお知らせ照会サービス）」の加入拡大に向けた取組み
- 需給逼迫のお知らせメール登録のお願い

<法人のお客さま>

- ご訪問や電気ご使用量のお知らせサービスの活用による節電・省エネのお願い
- 緊急時の通告ネガワット特約
- BEMSアグリゲーターとの協業による需要抑制の取組み

今冬の電力需給情報等のホームページへの掲載について

<p>電力需給のお知らせ (11/29[金]項目切替)</p>	<p>【掲載時刻】 毎日9:30頃、18:30頃 【掲載内容】 毎日の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)[ピーク時、時間帯別]、予想最大電力、ピーク時供給力、需要予想[時間帯別]、需要実績[3分値、時間帯別]、供給力の内訳など(H25夏と同様) >「電力需給のお知らせ」の切替にあわせて、電気の使用率が97%を超過する見込みとなった際、電子メールにてその時間帯をお知らせする「需給逼迫のお知らせメール」の運用および新規登録の受付をホームページにて開始いたします。(既にご登録いただいている場合は、改めてのご登録は不要です。)</p>
<p>週間電力需給のお知らせ (11/29[金]掲載開始)</p>	<p>【掲載時刻】 毎週金曜日18:30頃(日々の更新なし) 【掲載内容】 翌週(平日月～金)※の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)、予想最大電力、ピーク時供給力、供給力の内訳など(H25夏と同様)</p>
<p>翌々週の需給見通し (11/29[金]掲載開始)</p>	<p>【掲載時刻】 毎週金曜日18:30頃(日々の更新なし) 【掲載内容】 翌々週(平日月～金の1点情報)※の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)、予想最大電力、ピーク時供給力、供給力の内訳など(H25夏と同様)</p>

※土日祝・12月30日(月)～翌1月3日(金)は対象日から除く

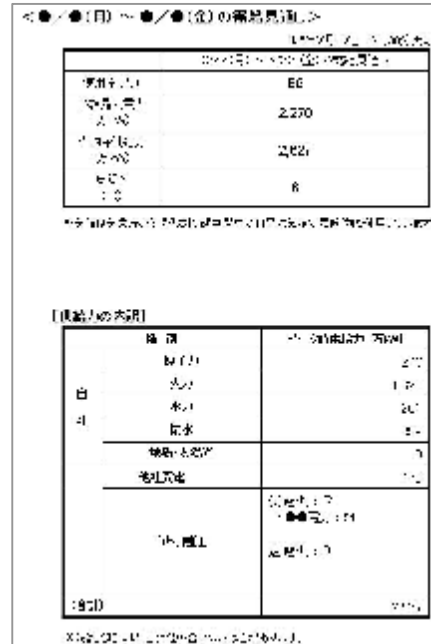
■ 電力需給のお知らせ



■ 週間電力需給のお知らせ



■ 翌々週の需給見通し



■ 需給逼迫のお知らせメール



※図はすべてイメージです

「BEMSアグリゲーターとの協業によるピーク抑制」の概要

参考

内 容	当社の負荷調整要請に基づき、ビル等の空調・照明設備等の負荷調整・制御を行うエネルギー管理システム(BEMS)を導入されたお客さまに対し、負荷調整を働きかけ、ピーク抑制を実施いただけるアグリゲーターを募集
アグリゲーターの募集方法および時期	募集の周知方法 : 当社ホームページを通じて行う 時 期 : 平成25年11月1日～平成25年11月15日
実施期間	平成25年12月2日～平成26年3月31日
アグリゲーターへの主な委託内容	①上記実施期間までに、負荷調整にご協力いただけるお客さまの選定と負荷調整可能電力の報告 ②負荷調整時間帯において、BEMSを活用して①で選定したお客さまの負荷調整を実施 ③負荷調整の実施結果の報告
負荷調整の依頼タイミング	原則、需給ひっ迫が予想される日の前日の午後
負荷調整時間帯	平日の9時～21時の間で、当社が要請する時間帯
負荷調整の対象となるお客さま	当社管内の高圧受電(契約電力1,000kW未満)のお客さま